

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年12月17日

## 【評価実施概要】

事業所番号	4270201280		
法人名	社会福祉法人 葉港会		
事業所名	グループホーム 春日スプリングガーデン		
所在地	〒857-0011 長崎県佐世保市春日町716-8 (電話)0956-25-5088		
評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構		
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島2丁目7217島原商工会議所1階		
訪問調査日	平成19年12月5日	評価確定日	平成20年1月10日

【情報提供票より】(H19年10月31日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 14 年 1 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9名	常勤 8人, 非常勤 1人, 常勤換算 8.4人	

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	37,500 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有( 円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(100,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有 保証金 - (2,000 × 入居月数) - 28,000円	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		800 円	

### (4) 利用者の概要(10月31日現在)

利用者人数	9名	男性	0名	女性	9名
要介護1	0名	要介護2	4名		
要介護3	3名	要介護4	2名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 86歳	最低 71歳	最高 94歳		

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	フジイ内科・胃腸科医院
---------	-------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

平成14年1月に設立された当ホームは「太陽と音楽と香り語りを」を理念に掲げ、高台の閑静な住宅地に系列の施設と共に、溶け込んで存在する。町内の清掃作業にも参加し、地区住民との相互関係を保って地域密着型施設としての積極的姿勢が窺われる。入居者は当ホーム設立時から利用されている方もおられる。現在は入居者すべてが女性で家庭的雰囲気醸成がなされている。職員は常に理念を念頭に置いて、入居者の尊厳を大切にして、日々穏やかな生活を保つよう、心掛けて支援をされている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>前回評価での主な改善課題として揚げられた項目は、改善計画シートを活用し、職員全員で取り組み、ほぼ改善がなされていた。今後も更なる取り組みの継続を期待したい。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は管理者を含め全員で取り組み、改善に向けて、日々努力している。今後も継続的に自己評価を行い、グループホームの質の向上に努めて行かれることを期待したい。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>2ヶ月に1回のペースで、民生委員や老人クラブ代表者家族、地域包括支援センター担当職員など、あらゆる方面からの参加がなされ、活発な意見交換が行われている。今まで同様、他のグループホームの模範になるような会議の開催や、意見を活かした取り組みの更なる継続を期待したい。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>意見箱を設置し、相談窓口の説明など、家族来訪時には行っているが、意見を聞き入れるための取り組みは、今のところ十分とは言えない。家族アンケートや満足度調査、家族会の発足に向けたサポート体制の強化など、積極的な取り組みを今後検討されることが望まれる。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>市町村委託事業の一環として、地域住民を対象とした、法人母体施設と連携しながら「介護教室」や施設見学会、小中学校などの教育機関の福祉体験の受け入れなど実施し、認知症への理解及び地域密着型サービスを意識した積極的な取り組みをされている。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	管理者は運営理念をもとに、決して押し付けの介護にならない事と入居者の尊厳を守り、これまでの生活が営まれるような介護を目指している。		
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日の朝礼時やミーティングなどで、運営理念を反復して学習し、入居者への対応に心がけている。		
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に入会し地域行事や地区の清掃作業など参加し、4ヶ月に1回程度、地区住民を対象に介護教室を開催している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	改善点の把握と改善に向けて、職員全員で話し合いを行い、利用者のより良い生活のために、外部評価と自己評価の活用に取り組んでいる。		
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の推進会議を行い、毎回、状況説明と外部評価を活かした取り組みに努めている。		

グループホーム 春日スプリングガーデン

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	法人の大きなバックアップと、市町村の担当者や行政に相談しながら、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族来訪時は、必ず、お話しする時間を設け、月1回入居者別に近況報告をしている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居時などに苦情や相談窓口の説明を行っている。		家族からの意見の吸い上げ方法として、法人内の介護サービス事業所では家族アンケートを実施している。グループホームに合わせた家族アンケート(満足度)調査の実施が可能と思われる。また、意見を出せる場の提供として、家族会の発足に向けたサポート体制の強化など、今後の取り組みに期待したい。
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者の馴染みの職員の異動や離職をできる限り、最小限にするよう努めている。又、顔なじみの職員が異動してくるため、入居者へのダメージは少ない。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内で6ヶ月に1回研修を行っており、可能な限り外部研修に参加するように奨励している。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内での交流があり、多機能な事業に渡り関わりがある。他のグループホーム間の情報交換もその時できている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	見学時に一緒にお茶やおやつを頂いたり、雰囲気馴染んでもらえるよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	昔の知識や得意分野を会話の中から探り出し、活躍の場面を作ったり、思い出話しの中で気持ちを共有できるようにしている。		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者一人ひとりの生活暦、性格、思いを把握し、職員同士で共有し、本人の意向を優先するようにしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人が充実した生活を送れるように、ケアカンファレンスを行い、意見を出し合いながら介護計画を作成している。家族面会時に計画書を一部渡し、理解を得ている。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に1回介護計画の評価を行い、必要があれば変更しているが、介護計画の見直しに向けた日々のモニタリングや経過記録が、介護計画に沿った記録とまでは、至っていない。		介護記録の分類はされているが、重複した内容を時間を掛けて書いてある。記録方法を検討し、見直しに向けた日々のモニタリングや、介護計画を念頭に置いた経過記録の活用により、現状に即した介護計画の見直しを行うよう、今後期待したい。

グループホーム 春日スプリングガーデン

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	法人としての多機能性があり、本人や家族の要望を聞いて柔軟な支援を提供している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	連携病院と連絡を密にして、ほぼ毎日往診がある。又、適切な医療提供に努めており、連携病院以外の受診は、家族にて対応されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	開設以来、施設で重度化した入居者の看取りはしていないが、家族や本人の意向があれば、取り組む方針がある。意思確認書は、本人、家族の意向を聞き、契約を交わしている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人の身体状況にあわせ、人格を尊重し誇りやプライバシーを守るように心がけている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事時間は大まかに決めているが、その他は自分たちで決めてもらっている。		

グループホーム 春日スプリングガーデン

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立と調理は同一敷地内の厨房でしているが、片付けなどできる範囲で一緒に行っている。また、可能な限り、おやつ作りなどには、参加していただき、訪問時に入居者が手作りのクッキー作りを職員と行い、楽しまれていた。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	健康状態と本人の意向に沿うような配慮をしてゆったりと入浴を楽しんでもらえるように努めている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員が付き添って、花壇への水やりや、洗濯たたみ、掃除など手伝っていただき、職員から「ありがとうございます」の言葉で笑顔があり、張り合いになられている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩やデイサービスの訪問など本人の希望を聞いたり、体調を見て支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全職員が施錠が入居者の心理圧迫に繋がることを認識し日中は施錠していない。玄関先にセンサー感知のチャムを設置している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	6ヶ月に1回、避難訓練を行い、1回は夜間想定避難総合訓練を消防署立会で行っている。近所へも避難訓練の実施日時の連絡などしているが参加までには至っていない。1ヶ月前にスプリンクラーの工事が終わり万全の対策をしている。非常持ち出し備品や食料などの備蓄については今のところ準備されていない。		グループホーム周辺は、高齢者世帯や独居、日中は高齢者のみの世帯も多い。当ホームにおける地域への還元としても、今後地域住民の避難訓練の参加や協力体制の強化、自主訓練の実施が、積極的に行われることを望む。また、自然災害を想定して、備蓄の確保など検討されることを期待したい。

グループホーム 春日スプリングガーデン

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事や水分摂取を細かく記録している。個人の嗜好の把握はしており、取り入れるようにしている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>証明は刺激の少ない温かみのある暖色系を用いている。夏場はカーテンなどをして、入居者への刺激や興奮をもたらさないよう注意している。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居の際は、今まで使い慣れたものの引き続きの使用を勧めるなど家族の協力を得ている。居室には、使い慣れたタンスやテレビなどの持込があり、過ごしやすい空間となっている。</p>		